

用心棒（古い作品のため字幕はありません）

2026年3月23日 上映時間 110分

【概要】

制作 1961年 東宝
監督 黒澤明
脚本 菊島隆三、黒澤明
音楽 佐藤勝
撮影 宮川一夫
出演



三船敏郎（桑畑三十郎）、山茶花究（新田の丑寅）、加東大介（亥之吉）
仲代達矢（卯之助）、志村喬（造酒屋徳右衛門）、河津清三郎（馬目の清兵衛）
山田五十鈴（おりん）、藤原釜足（名主多左衛門）、東野英治郎（権爺）
渡辺篤（棺桶屋）、司葉子（ぬい）

【あらすじ】

桑畑三十郎と名乗る浪人が馬目の宿にやって来る。馬目の宿には馬目の清兵衛と新田の丑寅という二人の親分が対立している。居酒屋の権爺から宿場の様子を聞いた三十郎は宿にとどまる決心をし、清兵衛の用心棒として雇われる。いざ決戦というとき、三十郎は用心棒を降り高みの見物を決め込む。三十郎の狙いは両陣営を戦わせて相打ちにさせることだ。やがて、丑寅の末弟の卯之助が戻ってくる。卯之助は拳銃の使い手で頭も切れる手ごわい相手。今度は丑寅陣営に属した三十郎は丑寅の手下を襲い造酒屋の徳右衛門の妾にされたぬいを救出、造酒屋を破滅させ、それを清兵衛一味の仕業だと吹き込む。丑寅は報復として清兵衛の屋敷に火を放ち清兵衛陣営を絶滅させる。丑寅陣営に捕えられた権爺を助けようと三十郎は丑寅陣営に決闘を挑み勝利する。そして、馬目の宿は三十郎の企み通り、静かな宿となった。

文句なしに楽しめる黒澤時代劇の傑作。

■ポイント

●各陣営

- ・丑寅陣営：丑寅（親分）、亥之吉（弟）、卯之助（末弟）、徳右衛門（支援者）
羅生門綱五郎（大男）
- ・清兵衛陣営：清兵衛（親分）、おりん（女房）、多左衛門（支援者）
- ・中立：三十郎（主人公）、三十郎の味方（権爺、棺桶屋）

●受賞

1962年ヴェネツィア国際映画賞：男優賞受賞（三船敏郎）
キネマ旬報ベストテン 1961年：2位

●続編

「椿三十郎」：1962年公開、監督：黒澤明、主演：三船敏郎

●リメイク版

「荒野の用心棒」：1964年公開、監督・セルジオ・レオーネ、主演・C・イーストウッド

■見どころ

●ラストの決闘シーン

●両陣営を手玉にする三十郎

●後のキャラクターに影響を与える

楊枝をくわえる三十郎：木枯し紋次郎

大男（羅生門綱五郎）：007シリーズのジョーズ（リチャード・キール）